

- BL04B1”放射光、12(1999)17-23.
- 3) 5471 田村剛三郎、乾雅祝、“超臨界金属流体の構造研究 - 膨張する水銀 - ” SPring-8利用者情報、4(1999)38-42.
- 4) 5472 田村剛三郎、乾雅祝、船越賢一、内海渉、辻和彦、“高温ステーション (BL04B1) における金属流体の構造研究” 日本結晶学会誌、42(2000)33-40.
- 5) 5473 一色麻衣子、大石泰生、鈴谷賢太郎、尾関智二、田村剛三郎、乾雅祝、“高エネルギーX線回折ビームライン (BL04B2) の試験調整運転状況” SPring-8利用者情報、5(2000)94-99.
- 6) 5474 田村剛三郎 “放射光を用いた超臨界金属流体の構造研究” まてりあ、42(2003)372-376.
- 7) 松田和博、田村剛三郎、乾雅祝、“加藤昌弘試料容器および流体試料分析方法” 特許出願2003-315946, 2003年9月.

生体超分子複合体構造解析ビームライン (BL44XU) の 中間評価について

財団法人高輝度光科学研究センター
利用業務部

専用ビームラインは、設置者の利用目的に添った計画によりSPring-8に設置されたビームライン（以下BLと記します）で、現在9本稼働中です。専用BLの利用計画及び装置の仕様は、専用施設検討委員会における科学技術的な観点からの審査を経て、諮問委員会で承認されています。また、SPring-8のBLは設置可能な数が限定されていますので、専用BLの利用計画は10年間の期限を設けています。専用BLの使用開始後、財団による専用BLの据付工事承認日から5年を目安に専用施設検討委員会がその使用状況及び研究成果等の中間評価を行い、諮問委員会で承認することとしています。これを受けて、

専用BLの利用等の見直し（継続、変更、中止等）が行われます。これまで、第1回は兵庫県BL（BL24XU）、第2回は産業用専用BL（BL16XU及びBL16B2）について中間評価が行われました。

今回、第3回の専用BL中間評価として、設置後5年を経過した生体超分子複合体構造解析BL（据付工事承認日：平成10年8月25日）の中間評価が平成15年10月24日に行われました。評価結果は、今後の実施について「継続」となりました。今後、他の5本の専用BLについても、5年を経過すれば専用施設検討委員会が中間評価を行うこととしています。